

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

複数施設研究用

以下、本文-----

脳出血急性期の経口降圧薬の効果に関する研究

1. 研究の対象

2022年1月1日から2024年12月31日の期間に、高知大学医学部附属病院及び研究協力機関8施設（近森病院/高知赤十字病院/高知医療センター/県立あき総合病院/幡多けんみん病院/愛宕病院/もみのき病院/徳島大学病院）において治療された脳出血症例のうちで以下を満たす患者さんを対象とします。

- 1) 発症3日以内の症例
- 2) 来院時の収縮期血圧が140mmHg以上であり、急性期降圧治療を必要とした症例

2. 研究目的・方法

脳出血は寝たきりや死亡の主要な原因であり、発症後は出血の拡大を防ぐためにすみやかに血圧を降下させて維持することが求められます。以前は注射薬の降圧薬が用いられてきましたが、注射薬の長期投与はデメリットもあり、内服の降圧薬を効果的に併用することが求められています。

本研究では、過去の脳出血症例の経口降圧薬使用状況を分析することで、脳出血の厳格な降圧を維持しつつ注射薬の投与期間を抑制できる経口降圧薬の種類と投与方法を見出すことを目指します。

研究期間は、倫理委員会承認日～2027年12月31日、利用又は提供を開始する予定日は、2025年4月1日とします。

3. 研究に用いる情報の種類

情報：脳出血の拡大、注射降圧薬の終了日、リハビリテーションの開始日、等

4. 外部への情報の提供

高知大学へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で、郵送にて行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

福田 仁	高知大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授
林 悟	近森病院脳神経外科 部長
松下 展久	高知赤十字病院第一脳神経外科 副部長

福田 真紀	高知医療センター脳神経外科 主任医長
川村 貴子	県立あき総合病院 脳神経外科 医員
野島 祐司	幡多けんみん病院 副院長
溝渕 光	愛宕病院 脳神経センター長
森木 章人	もみのき病院 院長
高麗 雅章	徳島大学病院 脳神経外科 助教

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1、TEL：088-880-2397

研究責任者：高知大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 福田 仁

研究分担者：高知大学医学部附属病院 脳神経外科 教授 上羽 哲也

-----以上